

奉仕活動・体験活動の参考になる図書等

平成15年5月6日
全国社会福祉協議会

(1) 図書の発行

○『ボランティアみんな知ってる？ [ボランティア活動の基礎知識・ジュニア版]』

内容: ボランティア活動の基礎知識を小中学生でも理解できるよう解説。関係機関等の連絡先を掲載

発行: 2002年7月

編集: 全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター

○『福祉教育実践ハンドブック』

内容: 学校教員や福祉施設職員、ボランティアなどが、子どもたちの自発的な福祉活動や体験学習を支援・推進できるよう解説

発行: 2003年4月(第2版)

編集: 全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター

(2) ホームページによる情報提供

○『GoGoこどもボランティア』

内容: ボランティアに関する基礎知識とともに、全国で子どもが中心となっておこなっているボランティア活動について、活動内容や時期などの項目別に事例を紹介

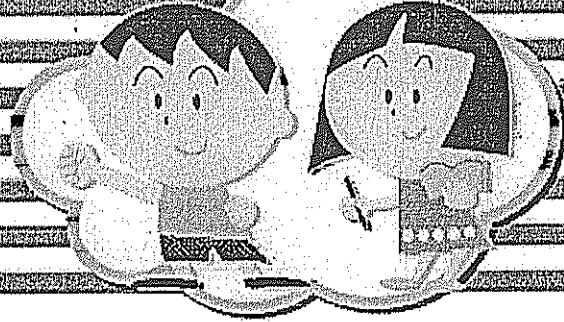
アドレス: (<http://www3.shakyo.or.jp/cdvc/volunteer/education/kodomo/index.html>)

(トップページ) <http://www3.shakyo.or.jp/cdvc/>

* 全社協ホームページ (<http://www.shakyo.or.jp/>) からアクセスできるよう現在調整中

探してみよう!
やってみよう!

ボランティア



GoGoどど



(調べよう)

ボランティアの
基礎知識

1. ボランティア活動とは
2. ボランティア活動に参加するには
3. 活動する前に知っておきたいこと
4. どんな活動があるのかな?
5. 用語解説
6. 統計情報

のぞいてみよう、いろんな活動

地図からさがす

地図から全国や地域の
ボランティア活動をさがしましょう。



項目からさがす

目的や項目などの特徴から、全国や地域の
ボランティア活動をさがしましょう。



検索画面へ

このホームページは、教職員共済生活協同組合の助成により作成したものです。

Copyright(c)2002 社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター All rights reserved

平成14年度「ボランティア体験月間」の実施状況について

都道府県・指定都市社協および市区町村社協等では、「広がりボランティアの輪」連絡会議が提唱する7～8月の「ボランティア体験月間」にあわせて、ボランティア活動への参加を希望する人がそのきっかけを得る機会を用意することを目的として、様々な体験プログラムメニューを実施しました。

本センターでは、この「ボランティア体験月間」期間中に、各都道府県・指定都市・市区町村社協並びに同連絡会議の構成団体においてどのような取組が行われたのか、アンケート調査を行いましたのでその集計状況をお知らせいたします。

(回答：47都道府県・12指定都市、24構成団体)

全国で約13,900プログラムに、約17万4千人が参加

体験月間期間中に社会福祉協議会等が実施した体験プログラムは、13,925コースにのぼり、全国で173,566人の人々が参加しました。

1. 都道府県・指定都市社協が実施している「体験プログラム」等の状況	都道府県・指定都市社協が実施しているプログラム等について ①参加者人数合計 15,387 人 ②プログラム数合計 2,763 コース
2. 市区町村社協が実施している「体験プログラム」等の状況	市区町村社協で実施しているプログラム等について ①実施している市区町村数 1,553 市区町村 ②参加者人数合計 152,848 人 ③プログラム数合計 10,545 コース
3. 「広がりボランティアの輪」連絡会議構成団体が実施している「体験プログラム」等の状況	「広がりボランティアの輪」連絡会議構成団体が実施しているプログラム等について ①参加者人数合計 5,331 人 ②プログラム数合計 617 コース

注) 1、2の参加者人数、プログラム数の次の都道府県・指定都市社協については、市区町村社協と共催で体験活動を実施しています。

市区町村社協と共催の都道府県・指定都市社協

青森、宮城、福島、埼玉、東京、富山、岐阜、愛知、京都、大阪、鳥取、岡山、山口、香川、高知、福岡、長崎、大分、宮崎、鹿児島、札幌市、京都市、大阪市

学童・生徒のボランティア活動普及事業の実施状況

① ボランティア協力校の指定状況 (第3章 表3-1 参照)

昭和52年度から国庫補助を受けて普及した「ボランティア協力校」事業は、各都道府県および指定都市で実施されており、学校の種類別にみると、幼稚園・保育所が659園(所)、小学校が10,358校、中学校が4,608校、高校が1,383、専門学校が20校、その他が134校で、全体では17,162校(園・所)が取り組みを行っている。

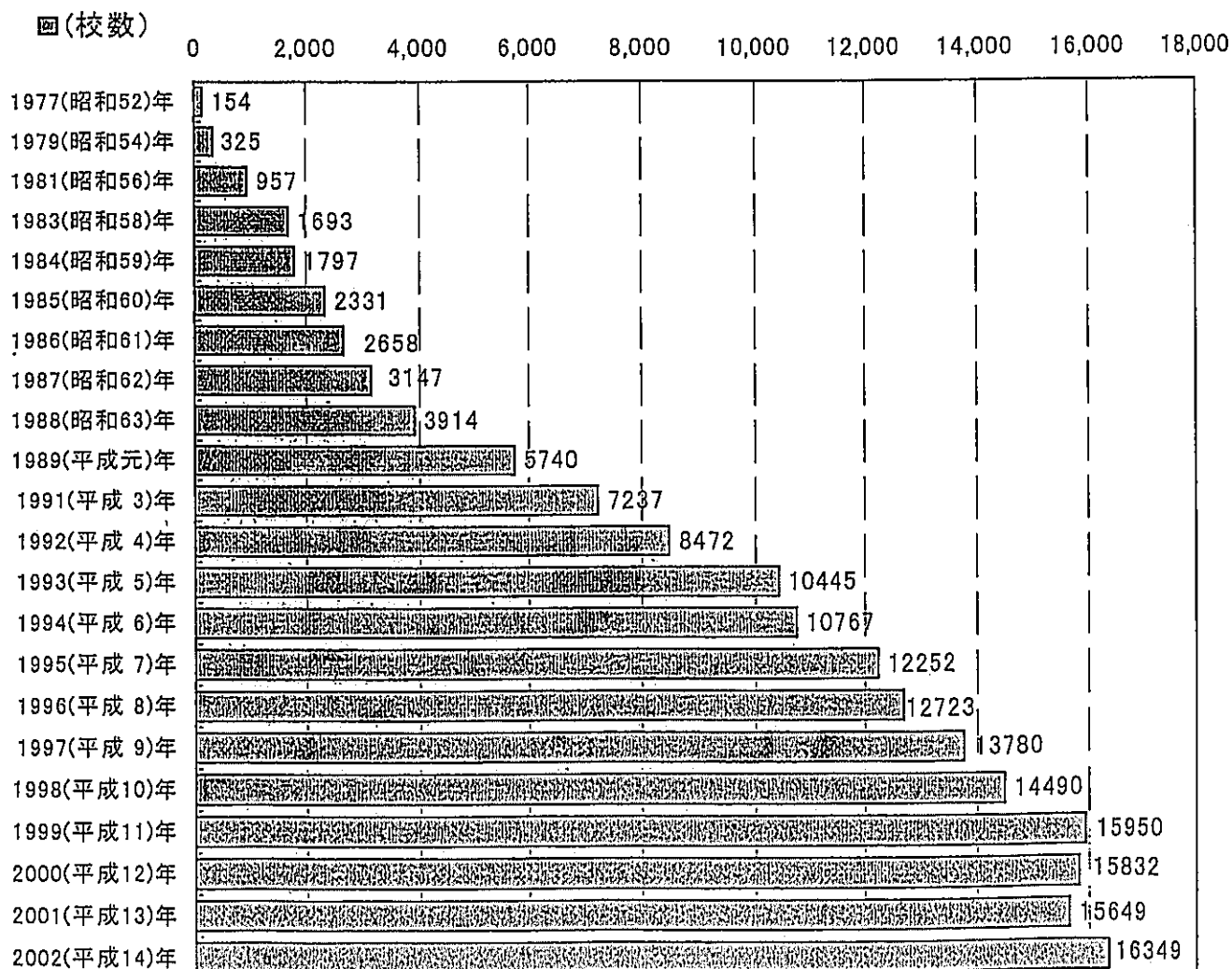
小・中・高校の「ボランティア協力校」の総数は16,349校となっている。その内訳は都道府県・指定都市(行政・社協)の補助によるものが5,504校で、そのうち国庫補助による指定校は4,718校となっている。

また、市区町村社協の補助によるものが10,430校、その他の補助等によるものが415校となっている。

② 地域(市区町村)における福祉教育推進状況 (第3章 表3-3 参照)

1市区町村内の小・中・高校すべてを「ボランティア協力校」と指定している市区町村の割合は、31.7% (昨年度31.3%)である。

ボランティア協力校の指定状況の推移 (小・中・高のみ)



小・中・高等学校におけるボランティア協力校の指定状況

